

ラブリーホール開館20周年記念事業

河内長野ラブリーホール合唱団
20周年記念演奏会

人類が得た至高の音楽遺産

ヨハン・セバスティアン・バッハ コラール

J.S.バッハ

〈原語上演・字幕付〉

河内長野ラブリーホール合唱団 20周年記念演奏会

2013 3/10【SUN】

ラブリーホール・大ホール (河内長野市立文化会館)

開演 / 14:00 開場 / 13:30

主催 / 公益財団法人 河内長野市文化振興財団

河内長野市教育委員会支援事業

ヨハネ受難曲

J.S.バッハ
〈原語上演・字幕付〉

指揮：船橋 洋介 / 管弦楽：大阪交響楽団

合唱：河内長野ラブリーホール合唱団

テノール：清水 徹太郎〈福音史家〉

バリトン：藤村 匡人〈ピラト〉

山本 哲也〈イエス〉

ソプラノ：田中 希美

アルト：福原 寿美枝

合唱指導：山本 哲也

練習ピアニスト：岡林 純香、小笹山 紀子

字幕操作：小笹山 紀子

第1部

演奏前に船橋洋介氏(指揮者)による
プレトークがございます。

- | | | |
|--------------------------|---|-----------------------------|
| 1. 《合 唱》 | Herr, unser Herrscher, | 主よ、われらを治めたまう主よ |
| 2a. 《福音史家、イエス》 | Jesus ging mit seinen Jüngern | イエスは弟子たちと一緒に |
| 2b. 《合 唱》 | Jesum von Nazareth. | ナザレのイエスだ |
| 2c. 《福音史家、イエス》 | Jesus spricht zu ihnen | イエスは言われた。彼らが答えた |
| 2d. 《合 唱》 | Jesum von Nazareth. | ナザレのイエスだ |
| 2e. 《福音史家、イエス》 | Jesus antwortete: | イエスは言われた |
| 3. 《コ ラ ー ル》 | O große Lieb, | おお、大いなる愛 |
| 4. 《福音史家、イエス》 | Auf daß das Wort erfüllet würde, | それは、イエスの言葉が実現するためであった |
| 5. 《コ ラ ー ル》 | Dein Will gescheh, Herr Gott, zugleich | 主なる神よ、御心が行なわれますように |
| 6. 《福 音 史 家》 | Die Schar aber und der Oberhauptmann | そこで一隊の兵士と千人隊長、およびユダヤ人の下役たちは |
| 7. 《アリア(アルト)》 | Von den Stricken meiner Sünden | 罪の縄目より |
| 8. 《福 音 史 家》 | Simon Petrus aber folgte Jesu nach | シモン・ペテロともう一人の弟子は、イエスに従った |
| 9. 《アリア(ソプラノ)》 | Ich folge dir gleichfalls | わたしは、あなたに従います |
| 10. 《福音史家、女中、ペテロ、イエス、下役》 | Derselbige Jünger war dem Hohenpriester bekannt | この弟子は大祭司の知り合いだったので |
| 11. 《コ ラ ー ル》 | Wer hat dich so geschlagen, | 我が救い主よ、誰があなたをそのように打ったのですか |
| 12a. 《福 音 史 家》 | Und Hannas sandte ihn gebunden | アンナスは、イエスを縛ったまま、送った |
| 12b. 《合 唱》 | Bist du nicht seiner Jünger einer? | お前もあの男の弟子の一人ではないのか? |
| 12c. 《福音史家、ペテロ、下役》 | Er leugnete aber und sprach: | ペテロは打ち消して、言った |
| 13. 《アリア(テノール)》 | Ach, mein Sinn, | ああ、わが悩める心よ |
| 14. 《コ ラ ー ル》 | Petrus, der nicht denkt zurück, | ペテロは主の言葉を思い出すこともなく |

第2部

15. 《コ ラ ー ル》 Christus, der uns selig macht,
 16a. 《福音史家、ピラト》 Da fuhreten sie Jesum
 16b. 《合 唱》 Wäre dieser nicht ein Übeltäter,
 16c. 《福音史家、ピラト》 Da sprach Pilatus zu ihnen:
 16d. 《合 唱》 Wir dürfen niemand töten.
 16e. 《福音史家、ピラト、イエス》 Auf daß erfüllet würde das Wort Jesu
 17. 《コ ラ ー ル》 Ach großer König,
 18a. 《福音史家、ピラト、イエス》 Da sprach Pilatus zu ihm:
 18b. 《合 唱》 Nicht diesen, sondern Barrabam!
 18c. 《福音史家》 Barrabas aber war ein Mörder.
 19. 《アリオソ(バス)》 Betrachte, meine Seel,
 20. 《アリア(テノール)》 Erwäge, wie sein blutgefärbter Rücken
 21a. 《福音史家》 Und die Kriegsknechte flochten eine Krone
 21b. 《合 唱》 Sei begrüßet, lieber Jüdenkönig!
 21c. 《福音史家、ピラト》 Und gaben ihm Backenstreiche.
 21d. 《合 唱》 Kreuzige, Kreuzige!
 21e. 《福音史家、ピラト》 Pilatus sprach zu ihnen:
 21f. 《合 唱》 Wir haben ein Gesetz,
 21g. 《福音史家、ピラト、イエス》 Da Pilatus das Wort hörte,
 22. 《コ ラ ー ル》 Durch dein Gefängnis, Gottes Sohn,
 23a. 《福音史家》 Die Jüden aber schrien und sprachen:
 23b. 《合 唱》 Lassest du diesen los,
 23c. 《福音史家、ピラト》 Da Pilatus das Wort hörte,
 23d. 《合 唱》 Weg, weg mit dem, Kreuzige ihn!
 23e. 《福音史家、ピラト》 Spricht Pilatus zu ihnen:
 23f. 《合 唱》 Wir haben keinen König denn den Kaiser.
 23g. 《福音史家》 Da überantwortete er ihn,
 24. 《アリア(バリトン)、合唱》 Eilt, ihr angefochtenen Seelen,
 25a. 《福音史家》 Allda kreuzigten sie ihn.
 25b. 《合 唱》 Schreibe nicht: der Jüden König,
 25c. 《福音史家、ピラト》 Pilatus antwortet:
 26. 《コ ラ ー ル》 In meines Herzens Grunde,
 27a. 《福音史家》 Die Kriegsknechte aber,
 27b. 《合 唱》 Lasset uns nicht zerteilen,
 27c. 《福音史家、イエス》 Auf daß erfüllet würde die Schrift,
 28. 《コ ラ ー ル》 Er nahm alles wohl in acht
 29. 《福音史家、イエス》 Und von Stund an nahm sie der Jünger
 30. 《アリア(アルト)》 Es ist vollbracht!
 31. 《福音史家》 Und neiget das Haupt
 32. 《アリア(バリトン)、コラール》 Mein teurer Heiland, laß dich fragen,
 33. 《福音史家》 Und siehe da, der Vorhang im Tempel zerriß
 34. 《アリオソ(テノール)》 Mein Herz, indem die ganze Welt
 35. 《アリア(ソプラノ)》 Zerfließe, mein Herze,
 36. 《福音史家》 Die Jüden aber, dieweil es der Rüsttag war,
 37. 《コ ラ ー ル》 O hilf, Christe, Gottes Sohn,
 38. 《福音史家》 Darnach bat Pilatum Joseph von Arimathia,
 39. 《合 唱》 Ruht wohl, ihr heiligen Gebeine,
 40. 《コ ラ ー ル》 Ach Herr, laß dein lieb Engelein
- 私たちを幸いにして下さるキリストは
 人々は、イエスを連れて行った
 この男が悪いことをしていなかったら
 ピラトが言った
 わたしたちには人を死刑にする権限がありません
 それは、イエスの言われた言葉が実現するためであった
 ああ偉大な王よ
 そこでピラトは言った
 その男ではない。バラバを!
 バラバは強盗であった
 とくと見つめよ、わが魂よ
 思い見よ、血に染められた主の背中が
 兵士達は茨で冠を編んで
 ユダヤ人の王様、万歳!
 そして、彼を平手で打った
 十字架につけろ! 十字架につけろ!
 ピラトは彼らに言った
 わたし達には律法があります
 ピラトは、この言葉を聞いて
 神の御子よ、あなたが捕らわれたことにより
 しかし、ユダヤ人は叫んだ
 もし、この男を釈放するなら
 ピラトは、これらの言葉を聞くと
 殺せ。殺せ。十字架につけろ!
 ピラトが言った
 わたくしたちには、皇帝のほかに王はありません
 そこで、イエスを彼らに引き渡した
 急げ、悩める魂よ
 そこで、彼らはイエスを十字架につけた
 「ユダヤの王」と書かず
 しかし、ピラトは答えた
 わたしの心の奥底には
 兵士たちは
 これは裂かないで
 それは、聖書の言葉が実現するためであった
 主は最期の時に臨んでも
 そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った
 成し遂げられた!
 そして、頭を垂れて
 尊い救い主よ、お尋ねしてよろしいでしょうか
 そのとき、神殿の垂れ幕が上から下まで真つ二つ裂け
 わが心よ、この世のすべては
 わが心よ、涙となって融け流れよ
 その日は準備の日で
 神の子キリストよ、助けてください
 その後、アリマタヤ出身のヨセブが、ピラトに願い出た
 安らかに眠ってください、聖なる骸よ
 ああ 主よ、あなたの愛する天使を遣わされ

解説

福本 健

J.S.バッハ ヨハネ受難曲

J.S.バッハ(1685~1750)が作曲した大規模な宗教的声楽曲は、受難曲だけでも5曲と言われているが、今日に伝わっているのは「ヨハネ受難曲」と「マタイ受難曲」の2曲だけであり、ほかに「口短調ミサ曲」を入れて3曲だけである。これら3曲は、バッハが人生の後半を過ごしたライプツィヒ時代に作曲されているが、最も早く作曲されたのが「ヨハネ受難曲」である。当時のライプツィヒでは毎年、聖金曜日に同市の2つの主要教会である聖トーマス教会と聖ニコライ教会で交互に大規模な受難曲を上演するという習慣があり、聖トーマス教会カントル(聖歌隊長で教会音楽の責任者)に就任して間もないバッハに新たな受難曲作曲の役が回ってきたわけで、新任のカントルとしては実力を発揮する絶好の機会となった。その時39歳だったバッハは漲る創作意欲に突き動かされて、この「ヨハネ受難曲」を作曲したのだが、それは実に力のこもった傑作となっており、1724年4月7日の聖金曜日に初演された。ちなみに「マタイ受難曲」が初演されるのは、それから数年後の1727年4月11日の聖金曜日と考えられている。

さて、受難曲は新約聖書の福音書に述べられているイエスの受難を扱った宗教音楽であり、「ヨハネ受

難曲」はヨハネ伝福音書をテキストとした受難曲、「マタイ受難曲」はマタイ伝福音書をテキストとした受難曲を、それぞれ簡略化した呼び名である。いずれも、人間たちへの愛ゆえに卑賤な姿で地上に下られた神の子、つまりイエスが、律法にこだわる体制宗教に抗して、愛による真の福音を説いて歩いたために捕らえられ、審問を経て十字架の上に処刑されるという出来事を通して、人間たちの罪を背負った罪なき身のイエスは、身代わりとして十字架にのぼられたのだから、イエスを信じることによって、人間は罪を離れ、魂の救いを得ることができるという思想を伝えるものである。

「ヨハネ受難曲」はヨハネ伝福音書の受難を伝える部分(第18~19章)に基づいて作曲されており、その楽曲構成は「マタイ受難曲」とほぼ同じで、福音書に書かれた聖句の地の文をテノールの福音史家が、そしてイエスやピラトなど登場人物の言葉をそれぞれの役を担う歌手がレシタティーフで語り、イエスの弟子たちや群衆の言葉は合唱で歌う形で進められるが、その間に聖句とは関係のない、出来事を《私》の立場から省察する器楽伴奏を伴うレシタティーフ付きアリアや、それを《われわれ》の立場から意味づけるコラールが挿入され、そして全曲の冒頭と末尾には大きな合

ヨハネ受難曲

唱曲が置かれるという形をとっているのだが、「ヨハネ受難曲」の場合はさらに1曲のコラールが最後に付け加えられている。

バッハの受難曲の2大傑作である「ヨハネ受難曲」と「マタイ受難曲」は、上述のように似た構成を取りながら、それぞれの性格はかなり異なっている。それはヨハネ伝の受難の記事がマタイ伝のそれに比べて遥かに短いことが関係しているだろうし、「マタイ受難曲」が物語を「受難の予言」から始めているのに対して、「ヨハネ受難曲」は「イエスの捕縛」から始めていること、つまり冒頭の合唱の緊迫した音楽を含めて、聴く者は最初からイエスの捕縛という事件の真っ只中に放り込まれていること、さらに「マタイ受難曲」は福音書の聖句に基づく受難の叙述に対して、それを観照するキリスト者、つまり《私》の感情の表現として挿入されるレシタティーフとアリアの比重が大きいのにに対して、「ヨハネ受難曲」はそれが少なく、ひたすらイエスの受難を見つめるという傾向を強くしていることが関係しているだろう。言い換えるなら、「マタイ受難曲」は叙情性が強いのにに対して「ヨハネ受難曲」は叙事性が強いということである。それだけに「ヨハネ受難曲」は物語の展開が簡潔であり、

同時に一層ドラマティックなものになっている。とりわけ第2部冒頭の「ピラトの審問」から「判決」そして「イエスの死」までの緊迫したドラマの進行は劇的である。加うるにこの「ヨハネ受難曲」のテキストは、ピカンダーが作詞した「マタイ受難曲」と違って、確とはしていないがバッハ自身が用意したと考えられており、本来はヨハネ伝には書かれていないにもかかわらず、第1部の「ペテロの否認」の場面において、ペテロがイエスの言葉を思い出してさめざめと泣く部分や、第2部のイエスの死後に神殿の幕が真二つに裂け、地震があつて眠っている聖徒たちの死体が甦る場面などは、おそらくバッハ自身がマタイ伝から引用してきたもので、劇的な性格を強調することに大きく役立っており、また同時に聴き応えのあるものにもなっている。

Explanation

指揮 船橋 洋介



東京音楽大学ピアノ科卒業。同大学指揮研究科修了。「ブラハの春」をはじめ数々の国際コンクールで入賞。特にオペラ・合唱付き作品で深い洞察力を発揮。チョン・ミョンフン、フェドセーエフなどの絶大な信頼を受け、数多くのステージやオペラ制作に携わる。08/09シーズンは、ペーテル・ブノワ《盛儀のミサ》を日本初演、その功績によりペーテル・ブノワ財団より名誉称号が授与された。またブラハ交響楽団への客演、ブラハにてモーツァルトのレクイエムを指揮し成功を収めるなど活動範囲を海外にも広げつつある。11/12シーズンは、12年5月に長岡にて、カール・ジェンキンス《平和への道程》の日本で初めてとなる全曲演奏会を行う。また大阪交響楽団をはじめ都響、東京フィル、東響、大阪フィルへの客演等、ますますの活躍が期待されている。06年より長岡市芸術文化振興財団音楽アドバイザー。

管弦楽 大阪交響楽団



1980年創立。楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!」をモットーに提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2006年4月、大和ハウス工業株式会社代表取締役会長 樋口武男氏が運営理事長に就任。同社の全面的な支援により、さらなる発展が期待されている。2008年、平成19年度(第62回)文化庁芸術祭「芸術祭優秀賞」、平成20年度「堺市栄誉賞」受賞。平成21年度「堺市功績団体」。2009年10月の「第139回定期演奏会」(児玉宏指揮 ブルックナー交響曲第6番ほか)の成果に対し、平成21年度(第64回)文化庁芸術祭「芸術祭大賞」を受賞した。2010年4月、楽団名を「大阪交響楽団」と改称(旧大阪シンフォニカー交響楽団)。http://www.sym.jp

テノール
〈福音史家〉 清水 徹太郎



京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第3回マダム・バタフライ国際声楽コンクールin長崎・入選特別賞。第1回ベルカントテノールコンクール第1位。第20回ABC新人オーディション音楽賞。第9回東京音楽コンクール第3位の他、飯塚音楽コンクール第2位、宝塚音楽コンクール第3位、トスティ歌曲コンクール入選、多数のコンクールに入選・入賞。オペラでは「カルメン」ドンホセ、「ラ・ボエーム」ロドルフォ、「魔笛」タミーノ、「トゥーランドット」パン、「ランスへの旅」騎士ベルフィオール役他多数に主演・出演。室内楽・宗教曲ではバッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」エヴァンゲリストおよびテノールソリスト。「第九」、「メサイア」、「天地創造」、「口短調ミサ曲」、「カルミナブラーナ」をはじめ多くのテノールソリストを務める。2013年1月、東京・紀尾井ホール主催のソロリサイタルを開催、好評を得る。2012年度音楽クリティッククラブ奨励賞受賞。びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。武庫川女子大学音楽学部非常勤講師。日本演奏連盟所属。

バリトン
〈ピラト〉 藤村 匡人



これまでになにわ芸術祭新人賞、摂津音楽祭コンクール銀賞、飯塚新人音楽コンクール第3位、J.S.G.国際歌曲コンクール第3位、日本音楽コンクール入選、アルフレード・クラウス国際声楽コンクール セミ・ファイナリスト、坂井時忠音楽賞、兵庫県芸術奨励賞をはじめ数多くの受賞を果たす。兵庫県新進芸術家海外研修員として渡欧し、世界的ドイツリートの演奏家である白井光子、ハルトムート・ヘル両教授のもとで、「歌曲演奏法」の研究を進め、カールスルーエ音楽大学大学院を修了。現在、ピアニスト長谷智子との関西唯一の「リートデュオ」として、定期的にドイツ歌曲リサイタルを開催する活動を行う。また、G・ボッセ、飯守泰次郎、新日本フィル、大阪フィルをはじめとする指揮者、オーケストラと「第九」、「大地の歌」や宗教曲のソリストとして度々共演。武庫川女子大学音楽学部、神戸女学院大学音楽学部各講師、関西二期会、日本シュベルト協会各会員。

バリトン
〈イエス〉 山本 哲也



福岡教育大学大学院音楽教育専攻(教育学修士)、愛知県立芸術大学大学院声楽専攻(芸術修士)修了。'96故園伊玖磨氏指揮、故鈴木敏介氏演出によるオペラ「夕鶴」運ず役でデビュー。日生劇場、愛知県芸術劇場、滋賀県立芸術劇場主催オペラ公演を軸に活動。「フィガロの結婚」伯爵、「魔笛」パパゲーノ、「愛の妙薬」ペルコーレ、「蝶々夫人」シャープレス、「カルメン」エスカミーリョ等。'98〜'03滋賀県立芸術劇場専属歌手契約。バッハ「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」等、ソリスト。第38回フランス、フロリレージュ国際合唱コンクール優勝(演奏、指導兼任)。現在、神戸女学院大学、神戸山手女子高校、武庫川女子大学附属高校にて後進を指導。《KOBÉ-ICM》東日本音楽活動応援プロジェクトに関わり、関係団体との連携のもと宮城県公立学校訪問(合唱指導)や福祉支援活動に参加。日本演奏連盟、日本合唱指揮者協会、名古屋二期会会員。びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。神戸室内アンサンブル-ICM主宰。河内長野ラブラリーホール合唱団を指導。

ソプラノ 田中 希美



相愛大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学研究科修了。莊田作、(故)柴田睦陸、大森地塩、(故)E.ブレーン、田中千都子の各氏に師事。1996年、ドイツ・ケムニッツ歌劇場より招聘され、「魔笛」夜の女王でドイツデビュー、ドイツの名歌手テオ・アダムと共演。現地の新聞に取り上げられ「東洋のクリスタルヴォイス」と絶賛される。オペラではコロラトゥーラのものを得意とし、レパトリーはバロックから現代物まで幅広く、「フラワーヴィオ」エミーリア(日本初演)、「セルセ」ロミルダ(日本初演)、「デイダミア」(日本初演)、後宮からの逃走「コンスタンツェ」、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「こうもり」アデーレ、「ナイチンゲール」(日本初演)、「あまんじゅくとうりこ姫」うりこ姫、「アマールと夜の訪問者」アマール、「炭焼姫」炭焼姫等に好演。バッハ「マタイ受難曲」、モーツァルト「戴冠ミサ」「ハ短調ミサ」「レクイエム」等、多数の宗教曲のソリストとしても活躍している。近年は、楽しいお話や趣向を凝らした気の張らないコンサートの出演や企画も行っている。関西二期会正会員。こうべコープ第九合唱団女声合唱団・An Die Musik 指導者、女声合唱団ピアチェルヴォイストレーナー、コープこうべカルチャー講師、四天王寺大学オープンカレッジ講師。

アルト 福原 寿美枝



京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。卒業時に音楽学部賞受賞。98年度友愛ドイツリートコンクール第2位受賞。『カルメン』のタイトルロール、『ラ・ファヴォリータ』レオノーラ、『オルフェオとエウリディケ』オルフェオでは、卓越した歌唱力と人を魅了する舞台姿で絶賛を得ている。また関西二期会オペラ公演では『アドリアーナ・ルクヴール』ブイヨン公爵夫人、『ぼらの騎士』オクタヴィアン、『タンホイザー』ヴェーナス、『ナクソス島のアリアドネ』作曲家にて出演し、08年新国立劇場での同役出演は各方面から絶賛された。同年東京シティフィル『トリスタンとイゾルデ』ブランゲーネにも出演し好評を得る。2011年の東京文化会館50周年記念フェスティバル記念オペラ『古事記』イザナミ役で出演。教会音楽では、NHK交響楽団定期演奏会モーツァルト「レクイエム」をはじめ、新日本フィルハーモニー室内楽シリーズ「口短調ミサ」の他、多くの宗教曲を歌唱している。その他、マラー交響曲第2番「復活」や「リュッケルトの5つの歌曲」「大地の歌」プロコフィエ「アレキサンダー・ネフスキー」等でオーケストラと共演する等、演奏活動は多岐に渡る。京都市立芸術大学、同志社女子大学で後進の指導にあたっている。

Johannes
Passion

ご挨拶

皆さま、ご来場ありがとうございます。

本日は、人類が得た至高の音楽遺産とも言われる「ヨハネ受難曲」を歌います。私達がバッハを歌うのは2006年の「ロ短調ミサ曲」以来です。

バッハには他に「マタイ受難曲」「クリスマスオラトリオ」という有名な大曲があり、いずれは、これらも歌うつもりです。特に「マタイ受難曲」は頻繁に演奏されファンも多い曲ですが、欧米ではむしろ「ヨハネ受難曲」の方がメジャーに演奏されているので、この度はこの曲を選びました。

本日は32回目の演奏会になります。これまで「第九」を始め「メサイア」、モーツァルトやヴェルディの「レクイエム」などの有名曲は無論のこと、「エリヤ」「パウロ」そして「エジプトのイスラエル人」等、世界的に有名でも我が国では必ずしも多くは演奏されない合唱曲を意識的に選択してまいりました。

これは、関西が生んだ名指揮者、故朝比奈 隆さんが、大阪にある「ザ・シンフォニーホール」に匹敵する音響特性を持ち、使い込むほど音が良くなると絶賛されたように、河内長野にも優れたクラシック向きのホールがある事を多くの人に伝え、そして日本では有名でなくても世界にはよく知られた合唱曲のある事を、またその素晴らしさを伝える事が、この合唱団の務めであると考えているからです。

毎回公募により編成される市民合唱団ですが、一年近い厳しくも楽しい練習を通じ、いずれの演奏会も多くのお客さまに大きな感動、感銘を与える事が出来ました。本日の演奏会も、曲の芸術性と相まってきっと皆さまに喜んで頂けるものと確信しております。どうか最後までごゆっくりとお楽しみ下さい。

今回は、来年2月23日(日)に、シューベルト・ミサ曲の最高峰「第6番」と、後期ロマン派の最高傑作と言われるブルックナーの「テ・デウム」を予定しており、4月から練習を開始します。皆さまも一緒に舞台できらめいてみませんか。合唱経験の無いどんな初心の方でも大歓迎です。ご参加をお待ちしております。

河内長野ラブラリーホール合唱団
代 表 横山 豊彦

合 唱

河内長野ラブラリーホール合唱団(KLC)

ラブラリーホールが開館した1992(平成4)年の年末、「第九」を歌うために集まった市民によって結成されて以来、今日まで8回の「第九」の他、モーツァルトやヴェルディの「レクイエム」、ハイドン「四季」、メンデルスゾーン「エリヤ」など、混声合唱の名曲演奏会を31回にわたり重ねている。合唱団員は演

奏会毎に募集されるが、一流ソリストを迎え、オーケストラ伴奏で合唱大曲を歌える当団の魅力は広く知られ、常時150名を超える愛好者が参加し、その歌唱水準も年々向上している。今やその存在は、河内長野の文化発信に欠くことのできない大きな柱となっている。

河内長野ラブリーホール合唱団(KLC)

合唱団員

ソプラノ

東 恵美子 藤尾 久子
新井 綾子 藤村絵津子
荒川 愛 細川 典子
出石 玲子 前川 友紀
市川 牧子 前田 章子
浦尾 豊子 前田 逸子
岡田まなみ 榎長 道子
神山 夕起 松本 康子
岸本 和子 南川 智子
木下 恭子 村井 恭子
木全三基子 荻添 恵子
木村 尚子 山崎由美子
百済 享子 吉岡 義子
黒川 佳子
黒田 周子
小林 朱美
嶋田 洋子
妹尾真理子
仙波 邦子
高島 仁美
高島 光代
高田 聖子
出嶋 保子
中尾美代子
西口 眞弓
花井 順子
日高 章子
福井 園子

アルト

朝田佐智子 田窪千代子 三村 治代
東 智恵子 田中 清江 村上 晴美
有富 共子 辻 千文 森 喜代子
安藤ひろ子 寺岡千賀子 森元千恵子
以倉 優子 寺山よし子 山崎 弘子
今城 照子 東郷 克世 山本 澄子
今田 孝子 友草千代子 横山 和子
大喜多徳子 中野 桂子 吉田 静子
岡嶋真智子 中林 佳子
岡林扶美子 中矢代陽子
織田美保子 那須野時子
加藤 孝美 西尾 洋子
金田由紀子 西川 澄子
岸尾 常子 西村 澄子
小谷フミコ 西村 麻里
沙海 苑子 野口 昭子
佐竹 真恵 范 信子
島田 絢子 平野 幸子
下間とみ子 平林 玲子
白井 千代 廣口 整子
尻家 淑子 福井 恵
新谷 輝代 古川 久江
菅野 多恵 堀内 美鈴
鈴木 亮子 本間 直美
砂嶽 紀子 正岡 恵子
高木千恵子 増田 眞弓
高岸季世子 松尾 綾子
高原 春子 松本 明美

テノール

池田 親侯
石橋 政仁
上田 治郎
岡野 豊
織田 弘一
片山 俊司
川西 隆行
河村 穰香
斎藤 洪至
武田 博
橘 毅
東郷 勝
野中 俊亮
星 明三郎
堀野 正
真期 淳一
宮本 毅
山岸 基哉
横山 豊彦

バス

安達 英行
新井 浩三
荒川 正夫
浦 一昭
大田 学
岡田 禮彌
小坂田 武
角田 益男
鎌倉 寛
河盛 健行
齊藤 則也
玉田 収
津山 尚古
鶴 浩一
西尾 浩
西口 高弘
沼井 清
藤井 弘
藤本 慶昭
本莊 巍
榎中 吉洋
松王 希祐
村田 高志
森田 照彦
柳澤美知夫
山崎 守彦
結城 良之
米田 昌通

Kawachinagano
Lovely Hall Chorus

河内長野ラブリーホール合唱団



河内長野ラブラリーホール合唱団の軌跡

1992.12. 4(金)	第1回 ベートーヴェン「第九」
1993.12.11(土)	第2回 ベートーヴェン「第九」
1994. 8.20(土)	モーツァルト「レクイエム」
12. 4(日)	第3回 ベートーヴェン「第九」
1995. 9.17(日)	ハイドン「天地創造」
12.10(日)	第4回 ベートーヴェン「第九」
1996.11.30(日)	ヘンデル「メサイア」
1997. 6. 1(日)	第5回 ベートーヴェン「第九」(開館5周年祝祭シリーズ)
11.23(日)	モーツァルト・ガラ(世情神童戯)
1998.11.29(日)	ヴェルディ「レクイエム」
1999. 5.16(日)	オルフ「カルミナ・ブラーナ」
12.19(日)	第6回 ベートーヴェン「第九」
2000. 9.17(日)	ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」
2001.10.28(日)	ハイドン「四季」
2002. 5.12(日)	We Love MOZART「戴冠ミサ」「イドメネオ」
10.27(日)	シンフォニック カンタータ「ゲルニカ」作曲:野田 燦/ロッシニ「スタバト・マーテル」
2003. 4.13(日)	ヴェルディ「レクイエム」(フェスティバルホール 昼夜2回)
2004. 2.15(日)	メンデルスゾーン「エリヤ」
5.30(日)	関西フィルハーモニー管弦楽団スペシャルコンサート 日米SFシンフォニーの競演/ジョン・ウィリアム「運命の闘い」「ヒムントゥザフォレン」
7. 4(日)	第7回 第九(堺フィル第30回定演)
2005. 1.16(日)	河内長野市制施行50周年記念 新春コンサート「華麗なるオペラ合唱曲集」
2006. 2.12(日)	バッハ「口短調ミサ曲」
2007. 2.25(日)	メンデルスゾーン オラトリオ「聖パウロ」
2008. 2.24(日)	河内長野ラブラリーホール合唱団15周年記念演奏会 ヴィヴァルディ「グロリアミサ」/モーツァルト「大ハ短調ミサ」
2009. 2.22(日)	ヘンデル オラトリオ「エジプトのイスラエル人」(全曲演奏)
8.22(日)	久石譲オーケストラコンサート2009(新潟りゅーとぴあ)
8.30(日)	久石譲オーケストラコンサート2009
9.27(日)	ラブラリーホール・ミュージカルスクール合同演奏会「合唱名曲コンサート」
12.27(日)	第8回 ベートーヴェン「第九」/のこぎり協奏曲(サキタハヂメ)
2011. 2.20(日)	ヘンデル「メサイア」(全曲演奏)
2012. 2.26(日)	ドヴォルザーク「スタバト・マーテル」
2013. 3.10(日)	ラブラリーホール開館20周年記念事業 河内長野ラブラリーホール合唱団20周年記念演奏会 バッハ「ヨハネ受難曲」
2014. 2.23(日)	シューベルト「ミサ曲第6番」/ブルックナー「テ・デウム」
(予 定)	